

京町班が復活しました

事務局 吉田 京子

10月24日(木)、高濱さん宅で京町班の班会が開かれました。班の結成は31年前ということで歴史ある班です。「20年ぶりに会う人もいるのよ」と高濱さん。講師は中野愛子先生で「誤嚥性肺炎について(班からの要望)」というテーマで、友の会デビューとなりました。先生のお話の後、質問が飛ぶように出て、「こんなに質問がある班会は初めて」と講師と私は顔を見合わせることも。手作りお菓子のおもてなしもあり、次の内容も決まって第2弾も楽しみな班会の復活となりました。



—高濱さんからの事務局へのメッセージ—

京町班、お世話になりました。久しぶりの再会もあり、皆さんに喜んでいただきました。「目からうろこ」で、皆さん誤嚥すると肺炎を起こすと思っていたようで、口の中の雑菌が気道に入り込むことで肺炎になるとは…。早速朝食前の歯磨きやうがいを実行しているそうですよ。昔の写真の記録によると1988年11月、壺川・京町班として9名で班会を開いています。



健軍1丁目班

事務局 大楠 学

11月21日、2年ぶりに小田和子様(運営委員)宅で健軍1丁目班会を5名の参加で開催しました。大きな鏡のある踊りの稽古場で齊藤総師長の「難聴の話し」を聞きました。耳の調子の悪い方もいて身近な班会メニューとなりました。ぜんざい、みかん、りんご、漬物も皆さんが持ち寄って

美味しく楽しい班会となりました。



長嶺班会に新卒看護師さんデビュー

事務局 吉田 京子



よかったです。加者が一人増えました。

月間紹介で秋の旅行参加者が一人増えました。忙しい中、中山師長も付き添ってサポートしてくれました。事務局からの

「そういう生活に密着した問題はちゃんと声にして市に届けて改善してもらいましょう。」となりました。新卒看護師も「緊張したけど、いろいろ勉強になりました。地域に出ることは大事ですね。」と感想。

11月15日(金)は新卒看護師の研修の一環として、長嶺班の班会に3階病棟の松永さんが講師となり「インフルエンザ」についてお話ししました。初めてでしたが、落ち着いて話すことができました。予防が大事、ワクチンを接種することで発症が50〜60%減少すること、入院が70%減少することは全く罹患しないということではないが、発症も重症化もだいぶ抑えられることがわかりました。室内の加湿に関することや、ワクチンをしばらく接種していなくても、注射は一回でよいのかなど質問がいろいろ出ました。室内の環境の話をする中で、(市営団地)天井からばらばら落ちてくる物があるのでマスクをして寝ていると話す会員さん。